

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月17日更新

事務事業名		保育料収納事務		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸	所属部	こども部	課長名	小畑 英之
	施策	5	こども・子育て支援の充実	所属課	こども未来課	担当者名	鍋嶋 ゆき乃
	業務分野	18	子育てと仕事の両立支援	所属班	保育班	(内線)	1623
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	児童福祉法 合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担徴
	一般	3	2	3	10581		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	保護者の事情により、十分な保育を受けることができない児童に対し、昭和29年4月1日に旧西合志町に2園保育所を認可、それにもなつて保護者から一部負担として保育料を徴収するようになった。現在も、制度がかわり、保育のみならず、教育部門の利用者に対しても給付を行なっているため、保護者の資力に応じた施設の利用者負担を賦課し、保育所利用者については収納までを行なっている。また、納期内納付を促進し、滞納者に対しては、督促状や催告状の送付、また滞納処分などを適宜行ない、納期内納付者との公平性を保つ。
【業務の流れ】	課税状況により利用者負担決定→入所決定に併せ負担額決定の通知→納付書発送または口座振替手続→口座振替不能者への通知発送→未納者に督促状発送→督促状に応じない場合滞納整理
【主な予算費目】	職員手当 役務費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

利用者負担額の賦課、保育所利用者の収納及び未納となった場合の滞納整理を行ったことで、公平性を確保することができた。
令和6年度実績：現年度 調定額210,977,400円 収納額210,594,200円、滞納繰越分 調定額1,996,390円 収納額885,011円、不納欠損130,000円
【基準に達しなかった理由】
日中の業務時間内に電話・文書催告等を行い、時間外に滞納整理を行う必要性が少なかったため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

利用者負担額の賦課・収納及び滞納整理を行う。

③予算の主な増減の理由

郵便料金の値上げに伴う役務費の増

成果指標

- ア 収納率(現年度分)
- イ 収納率(過年度分)
- ウ

(単位)

データ取得方法

%
%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	99.4	99.6	99	99.5	99	99	99	99
イ	%	34.7	37	50	44.3	50	50	50	50
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	12	12	19	13			
	繰入金	千円							
一般財源	千円	364	304	482	306	528	704	708	711
(A) 事業費計	千円	376	316	501	319	528	704	708	711

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

<成果向上の余地>

催告や臨戸の頻度を高めることで更なる収納率の向上が見込めるため、向上の余地はある。

<事業費削減の余地>

新制度の施行及び入所希望の増加により、収納業務についても事務量は増加の一途をたどっているが、新たな職員配置は見込めず、現状で削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)